

総務文教常任委員会活動レポート

開催日：令和5年10月18日(水)

開催場所：1・2号委員会室

総務部

1. 北方領土対策について

自見内閣府特命担当大臣と隣接地域の自治体関係者及び関係団体等との懇談が実施され、北隣協として要望を行いました。議長と町長が出席しています。

また、北方四島交流事業等の再開が見通せない中、交流事業に対する理解を深めることなどを目的にセミナーが12月16日、写真展示が16・17日に実施されます。

2. ふるさと応援制度推進事業について

(1) 寄付金の申し込み状況について

9月末現在、寄附件数2929件、寄附金額5589万8千円で前年度比1.79倍になります。10月以降は、ふるさと納税のルール改正により、自治体が募集経費圧縮のため返礼品割合を下げる動きが高まり、9月の申し込みが増えたためと考えられます。当町でも9月の寄附額は過去最高額を記録しています。

(2) 9月末までの取組状況について

- ・推進体制の見直しで、中央コンピュータサービス株式会社が中間事業者として運営を開始。
- ・地域おこし協力隊が着任し、ふるさと応援係に配属。令和8年9月末までの任期。
- ・返礼品事業者会議を開催し、令和4年度事業報告と5年度の取組を協議。
- ・返礼品の拡充のため中間事業者と情報共有をし、随時、新規事業者を訪問。
- ・経済振興課と連携し「新商品開発等チャレンジ支給事業補助金」申請の相談があった際、返礼品事業者になり得る場合に事業の説明を実施。
- ・寄附者へのPRとしてInstagramによる情報発信を強化。

【主な質疑】

委員：申込サイト別のANA、JALの寄付単価が高いですが、どのような返礼品が人気ですか？

担当：主に乳製品です。

委員：ルール改正の影響はどうか？

担当：中標津町としては特に影響は見られず、返礼品の値上げ等は事業者の判断で行います。

3. 町有財産の管理について

宅地一件を一般競争入札で売り払うとの報告を受けました。

4. 全国町村総合賠償補償保険について

訴訟提起について報告を受けました。

5. 都市間交流事業について

(1) 川崎ジュニア文化賞訪問団受入れについて

川崎市内の小学5・6年生対象の作文・絵画のコンクール受賞者13名が、8月15日から18日にかけて中標津町を訪問しました。開陽台展望台やゆめの森公園の見学、食品加工体験、酪農体験、計根別学園での交流等行っています。

【主な質疑】

委員：酪農体験の内容と、子どもたちの反応はどうでしたか？

担当：搾乳ロボットを見たり、子牛に牛乳を与えていました。最初は牛を怖がっていたが最後は慣れた様子でした。

(2) 第44回かわさき市民祭り参加について

11月3日から5日にかけて川崎市内で開催されるかわさき市民祭りに、中標津町の友好都市連携事業として昭和63年から参加しています。参加者は11名で、出店内容は牛乳やチーズ等の販売で中標津町のPRを行っています。

教育委員会

1. 中学生議会について

(1) 開催の経緯、事業の内容

平成21年3月定例会の一般質問を受け、22年度以降、町内中学校3年生10人の参加で開催してきました。(令和2年度以降、新型コロナの影響で未実施)内容としてまちづくり等に関する質問を一般質問形式で行い町長等が答弁をするものです。

(2) 事業への意見や課題等

生徒の質問が過去の質問と重複や類似するものが多い。町側の回答が形式的なものになっている。学校側の意見としては、町の財政状況や政策の実情まで学んでいないので例年と同じような質問になっているとのこと。

(3) 今後の方向性

事業再開に当たっては、その必要性を十分に検討した上で判断する必要があり、事業改善により得られる効果より学校現場への負担増といったマイナス面が懸念され、事業を廃止したい。

【主な質疑】

委員：廃止することになった経緯を教えてください。

担当：開催を検討しましたが、学校の意見等を聞く中で今のような形で行うことができないとの判断をしました。

委員：違うやり方で開催できないのですか？

担当：議員が直接子どもの意見を聞き議会に反映する方が良いのではないのでしょうか。

委員：子ども基本法が施行される中で、廃止するのはどうか。もう一度色々な方法を模索してはどうですか。

この説明を受け、総務文教常任委員会として、従来の形式でなく子どもたちの主体性のある取組を協議し、提案することとしました。